

藤澤(宇都宮身) ヤクルト1位

プロ野球ドラフト

社会人屈指の外野手

プロ野球の新人選手選択会議(ドラフト会議)が22日、東京都内で開かれ、宇都宮市出身で東京ガスの藤澤涼介外野手(24)がヤクルトから1位指名を受けた。本県関係選手の1位指名は2022年のオリックス・豊谷龍平投手(当時白鷗大)以来4年ぶり。

佐野日大高出身では17年のオリックス・田嶋大樹投手(宇都宮市出身、当時J東日本)以来9年ぶりとなる。(3、14、15面に関連記事)藤澤外野手は187センチ、87キロで右投げ右打ち。宇都宮市城東小では城東学童、宇都宮東高付属中では宇都

宮リトルシニアでプレー。佐野日大高では1年時の18年に打線の中軸として秋の関東大会8強進出に貢献した。横浜国立大では神奈川大学リーグ1部で通算13本塁打をマークし、3年生時の23年は大学日本代表候補に選出された。東京ガスでは1年目の25年から2年連続で都市対抗野球大会に出場し、銀メダルを獲得した。今秋の愛知・名古屋アジア大会の日本代表にも名を連ねた。確実性も備えた右の長距離砲で50メートル5秒台の俊足も武器にすることから、走攻守そろった「社会人ナンバーワン外野手」と評されていた。

藤澤外野手は「一番高い評価を受け素直にうれしく思う。全て自分を応援してくれる人たち、関係者のみんなのおかげ」と喜びと感謝を述べた。(伊藤慧)



ヤクルトから1位指名を受け、笑顔を見せる宇都宮市出身の藤澤(東京ガス) 22日午後6時45分、東京都大田区大森東3丁目、加藤竜矢撮影

宮リトルシニアでプレー。佐野日大高では1年時の18年に打線の中軸として秋の関東大会8強進出に貢献した。

横浜国立大では神奈川大学リーグ1部で通算13本塁打をマークし、3年生時の23年は大学日本代表候補に選出された。東京ガスでは1年目の25年から2年連続で都市対抗野球大会に出場し、銀メダルを獲得した。今秋の愛知・名古屋アジア大会の日本代表にも名を連ねた。確実性も備えた右の長距離砲で50メートル5秒台の俊足も武器にすることから、走攻守そろった「社会人ナンバーワン外野手」と評されていた。